

「平成31年度全国学力・学習状況調査」における

岬町の調査結果概要

令和元年 10 月
岬町教育委員会

平成31年度全国学力・学習状況調査における本町の調査結果

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の名称及び実施日

『平成31年度全国学力・学習状況調査』 実施日：平成31年4月18日

3. 調査の対象

小学校第6学年（96名）、 中学校第3学年（110名）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

小学校：国語・算数

中学校：国語・数学・英語

教科に関する調査

- ◇身につけておかなければ後の学年に影響を及ぼす内容
- ◇実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対するアンケート調査

- ◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

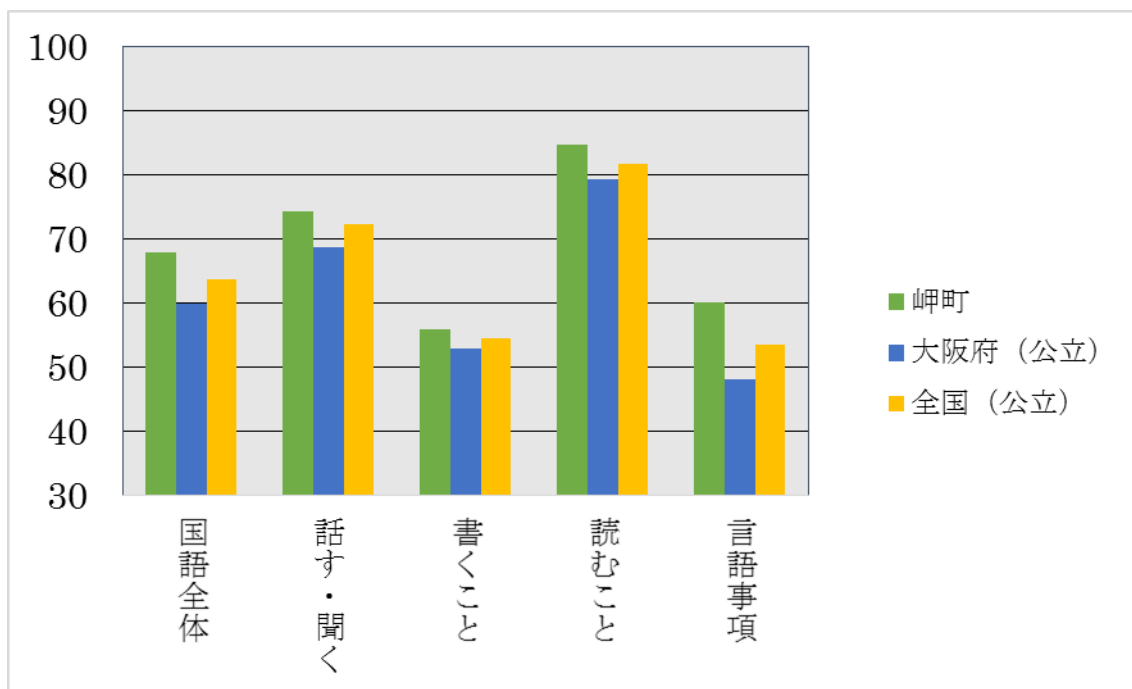
学校に対するアンケート調査

- ◇指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

小学校国語

◇問題等 知識と活用に関する問題を一体的に問い、記述式の問題を一定割合出題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「国語全体」については、対全国比+4.2%の正答率であり、良好である。
- 「話すこと・聞くこと」については、対全国比+2.4%の正答率であり、良好である。
- 「書くこと」については、対全国比+1.4%の正答率であり、良好である。
- 「読むこと」については、対全国比+3%の正答率であり、良好である。
- ◎「伝統的な言語文化（言語事項）」については対全国比+6.7%の正答率であり、昨年度に続き良好である。

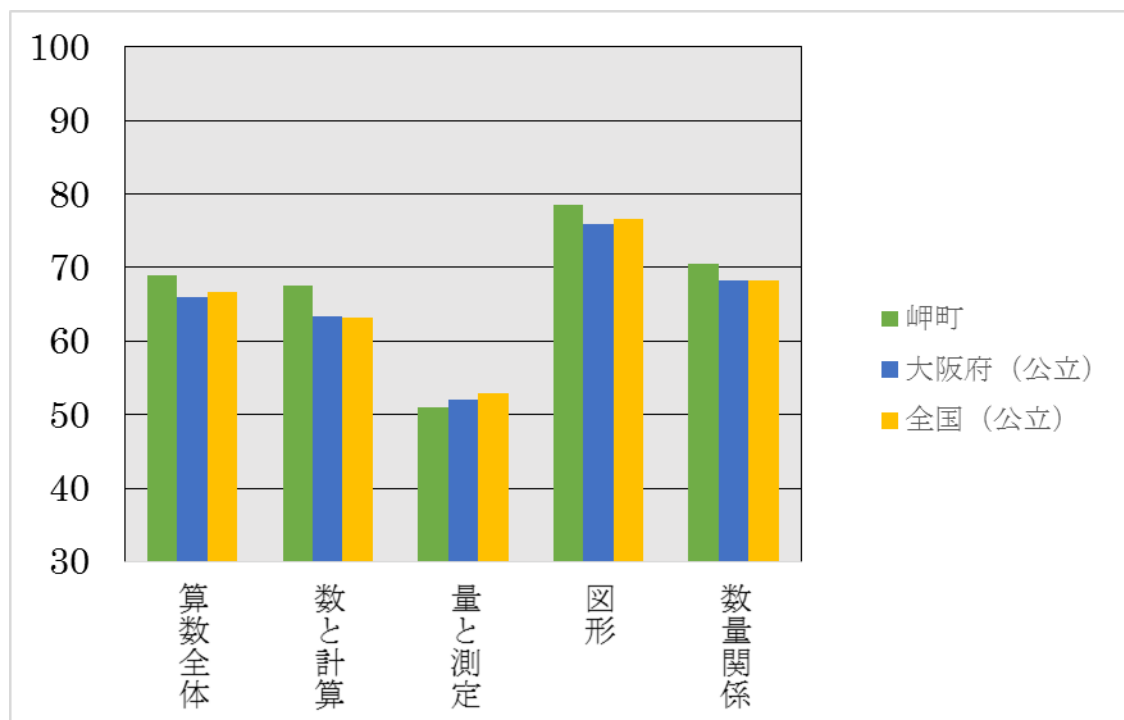
◇小学校国語の成果と課題

- ・国語全体では、主として活用に関する問題で課題が続いていたが、良化傾向である。
- ・「書くこと」の領域について、全ての問題において対全国比で上回っていて課題が改善されている。
- ・選択式の問題形式についてはよくできているが、短答式・記述式の問題形式では課題もみられる。（目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む対全国比-6.1%）

小学校算数

◇問題等 知識と活用に関する問題を一体的に問い、記述式の問題を一定割合出題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「算数全体」については、対全国比+2. 4%の正答率であり、良好である。
- ◎「数と計算」については、対全国比+4. 4%の正答率であり、昨年に続き良好である。
- 「量と測定」については、対全国比-1. 9%の正答率であり、昨年に続き課題がある。
- 「図形」については、対全国比+1. 9%の正答率であり、良好である。
- 「数量関係」については、対全国比+2. 1%の正答率であり、良好である。

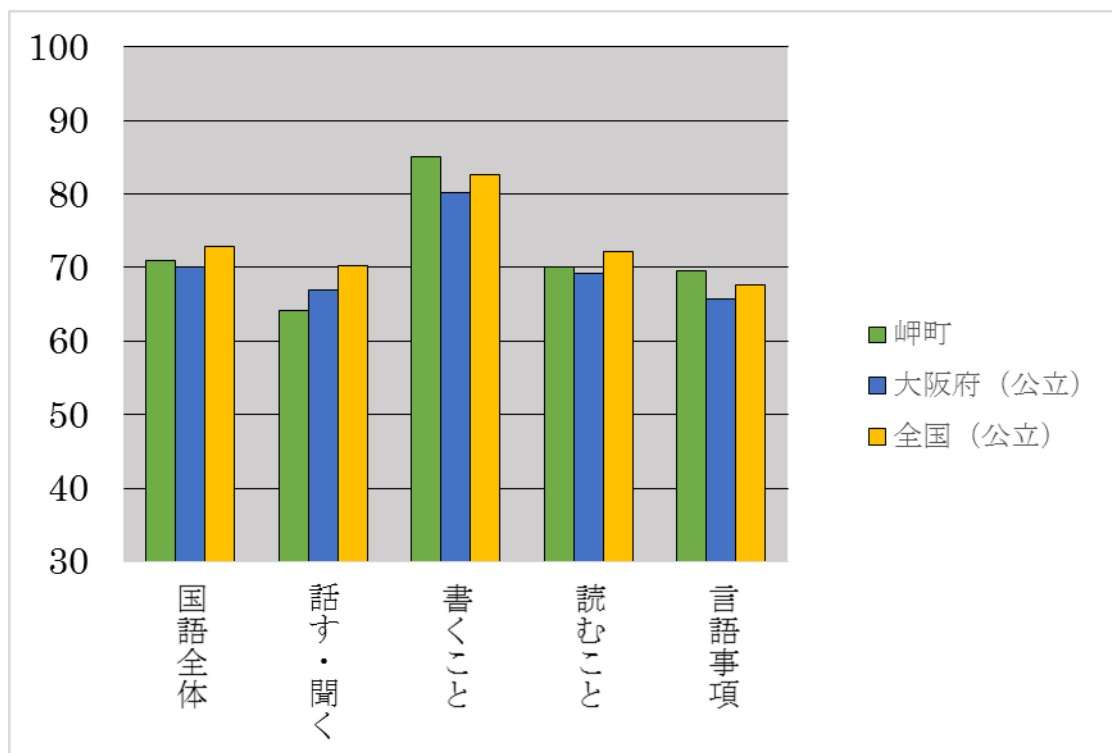
◇小学校算数の成果と課題

- ・算数全体では、主として活用に関する問題で課題が続いていたが、良化傾向である。
- ・記述式の問題形式に対して、やや課題が見られる。
(示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する問題など)

中学校国語

◇問題数等 知識と活用に関する問題を一体的に問い、記述式の問題を一定割合出題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「国語全体」については、対全国比－1.8%の正答率で昨年に続き課題がある。
- 「話すこと・聞くこと」については、対全国比－6%の正答率で大きな課題がある。
- 「書くこと」については、対全国比＋2.4%の正答率であり、良好である。
- 「読むこと」については、対全国比－2.2%の正答率であり、課題がある。
- 「言語事項」については、対全国比＋1.8%の正答率であり、良好である。

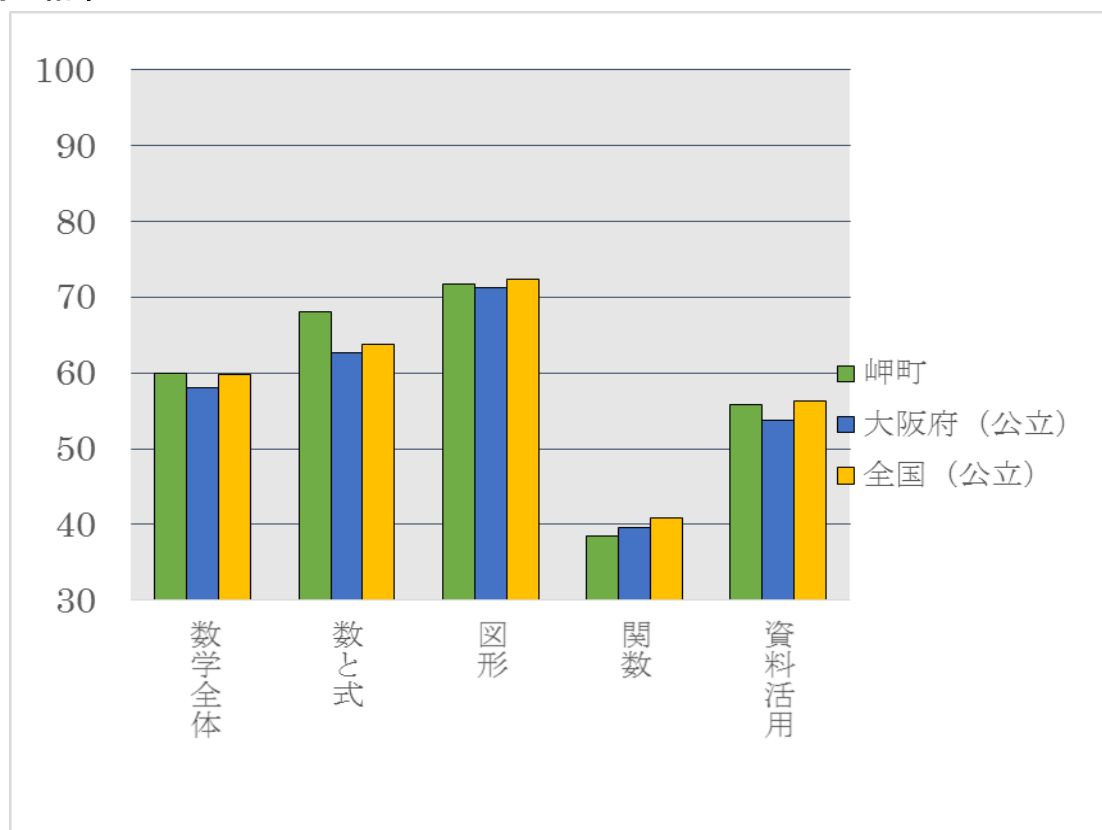
◇中学校国語の成果と課題

- ・話すこと聞くことについて、話合いの役割や、相手に分かりやすく伝わる表現についての理解が不十分なため、自分の考えをもつまでに至らなかった。
- ・読むことについて、内容を捉えるところに課題があり、自分の考えをもつまでに至らない。
- ・問題形式（選択式、短答式、記述式）に対しての対全国比正答率の差は見られなかった。

中学校数学

◇問題数等 知識と活用に関する問題を一体的に問い、記述式の問題を一定割合出題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 数学全体については、対全国比+0.2%の正答率であり、概ね良好である。
- ◎「数と式」については、対全国比+4.2%の正答率であり、昨年に続いて良好である。
- 「図形」については、対全国比-0.6%の正答率であり、概ね良好である。
- 「関数」については、対全国比-2.3%の正答率であり、課題がある。
- 「資料の活用」については、対全国比-0.4%の正答率であり、概ね良好である。

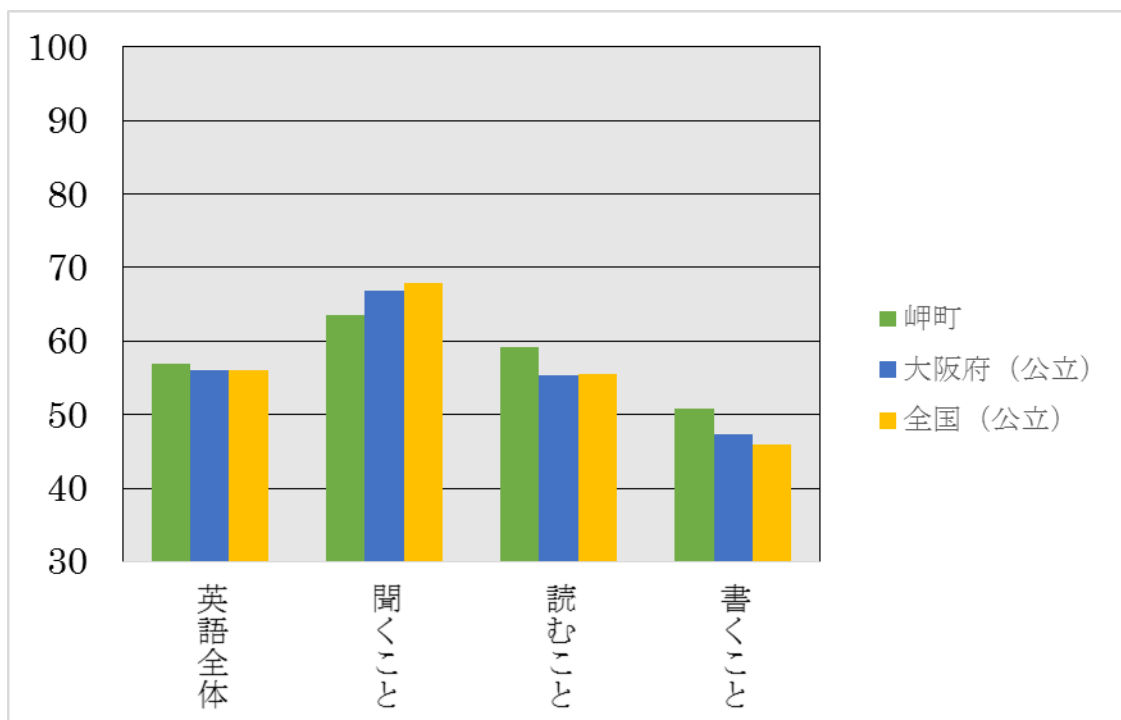
◇ 中学校数学の成果と課題

- ・知識、理解に関する問題について、成果があった。(5問中4問が対全国比で上回った)
- ・記述式の問題形式について、成果があった。(4問中3問が対全国比で上回った)
- ・反比例、確率、代表値について、事象に即してとらえることに課題がある。

中学校英語

◇問題数等 知識と活用に関する問題を一体的に問い、記述式の問題を一定割合出題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「英語全体」については、対全国比+1%の正答率であり、良好である。
- 「聞くこと」については、対全国比-4.3%の正答率であり、課題がある。
- 「読むこと」については、対全国比+3.6%の正答率であり、良好である。
- 「書くこと」については、対全国比+5%の正答率であり、良好である。

◇中学校英語の成果と課題

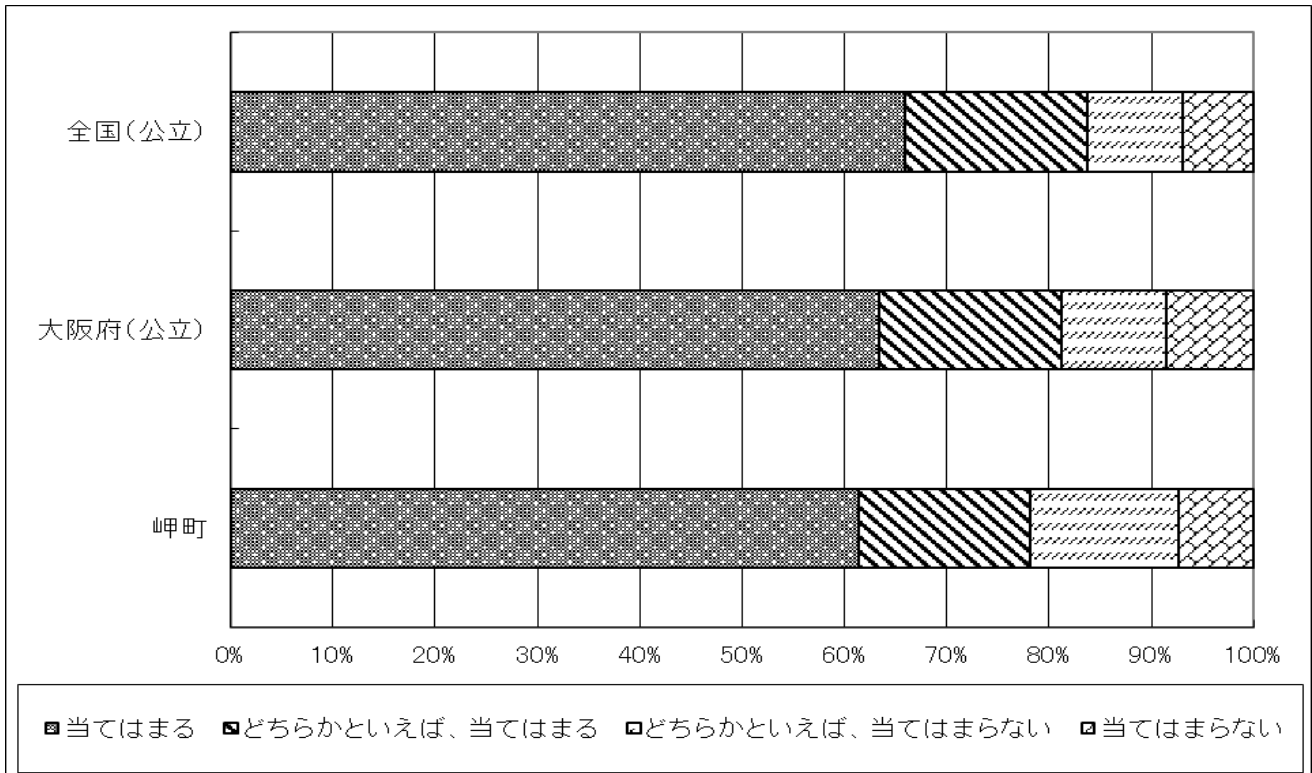
- ・基本的な文法事項を理解して、正しく文を書くことに成果があった。
(対全国比で7問中5問上回った)
- ・基本的な内容の文章を正確に読み取ることができる傾向がある。
- ・リスニング問題について、情報を正確に聞き取ることに大きな課題があり、
(対全国比で7問中6問下回った)、授業の改善が必要。

岬町の子どもたちの生活の様子

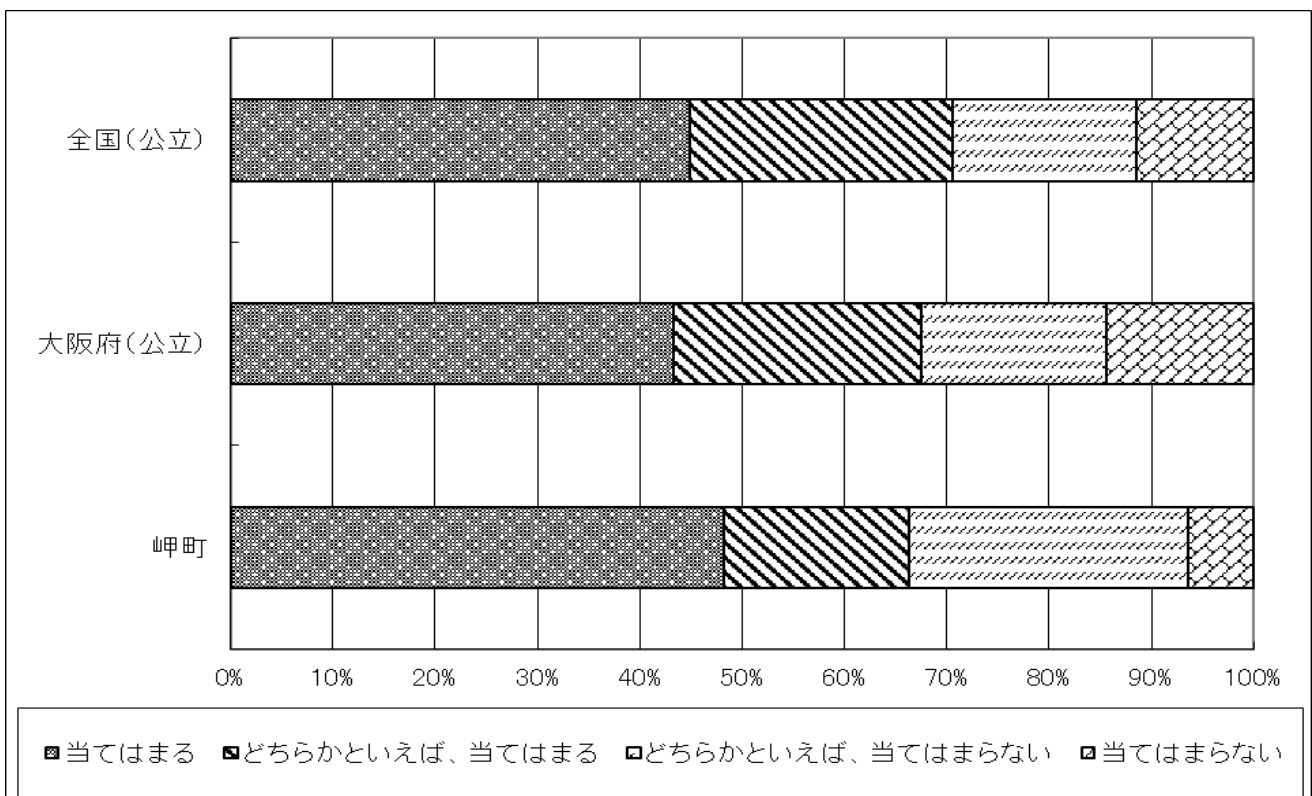
(小学校・中学校)

—児童・生徒質問紙より—

1. 将来の夢や目標を持っていますか（小学校）

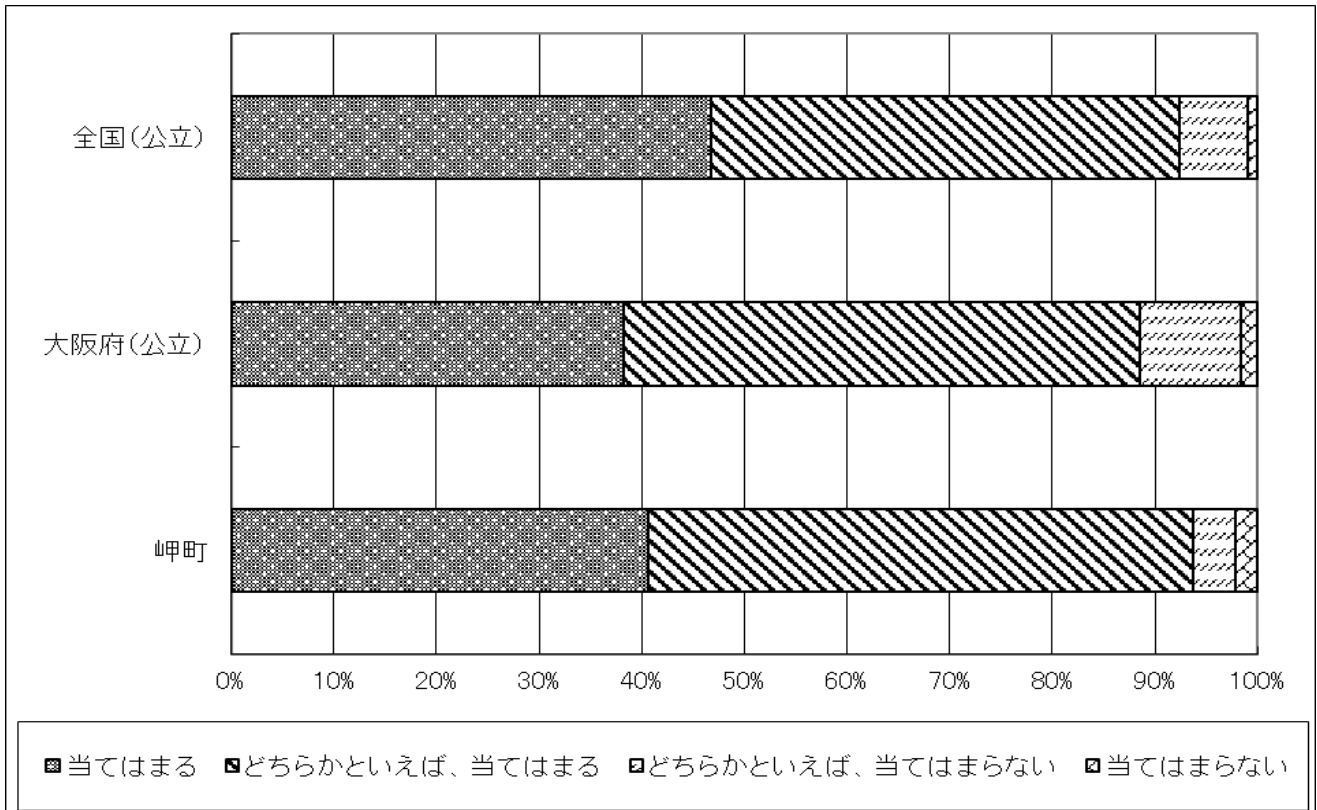


1. 将来の夢や目標を持っていますか（中学校）

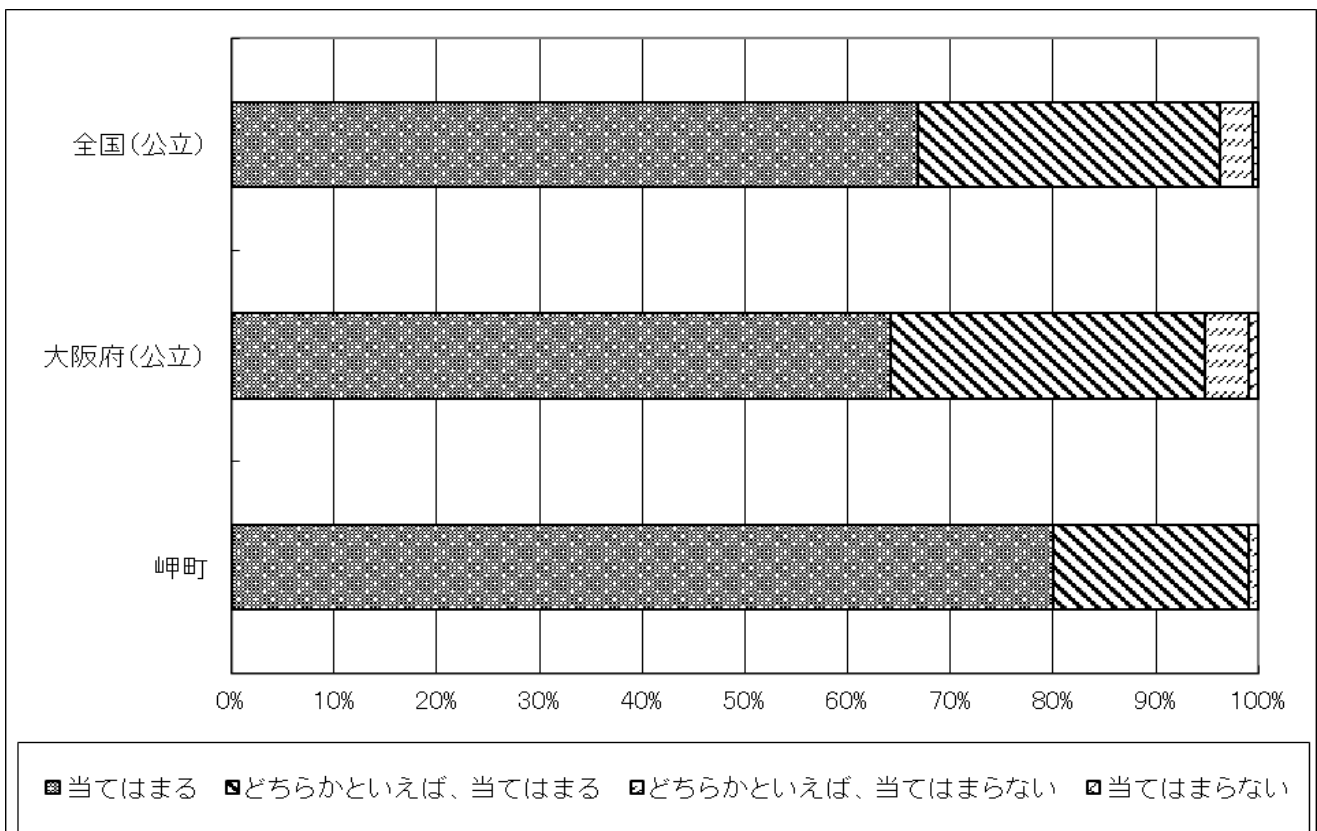


●小中学校共に、全国平均よりも肯定的回答が下回っているが昨年より改善されている。今後も、キャリア教育を教育活動全体の中で進めていくことが必要である。

2. 学校のきまりを守っていますか（小学校）

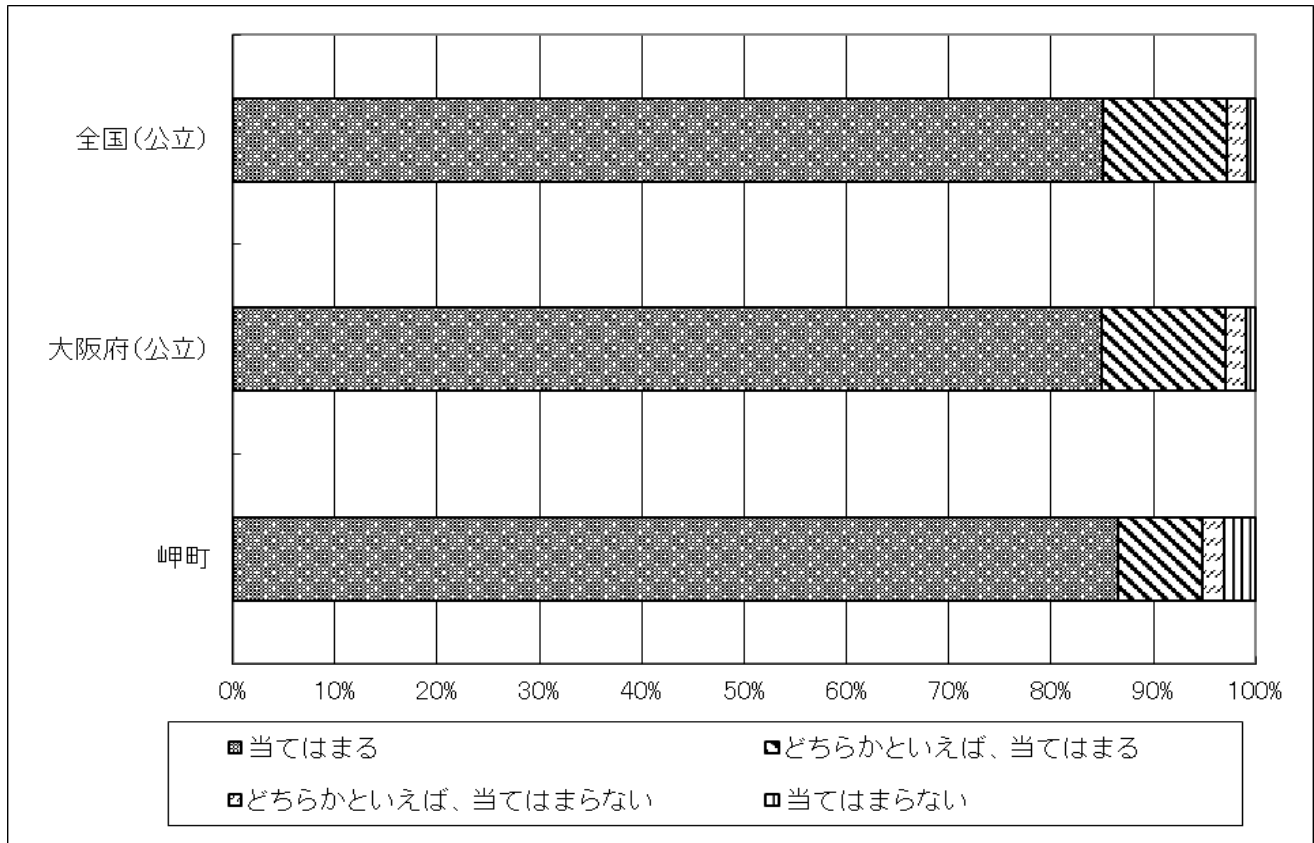


2. 学校のきまりを守っていますか（中学校）

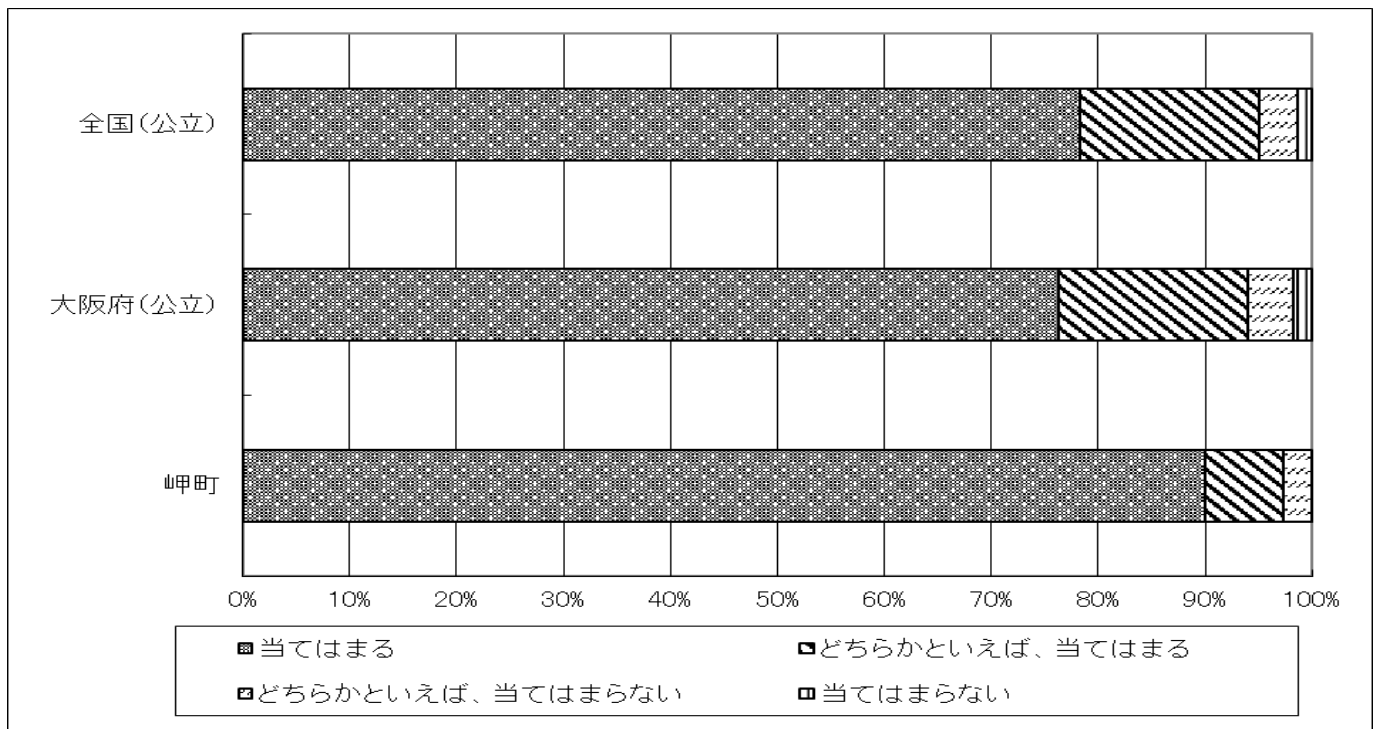


● 中学校では、全国平均よりもきまりを守る意識が非常に高い。小中共に規範意識は高い。

3. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（小学校）

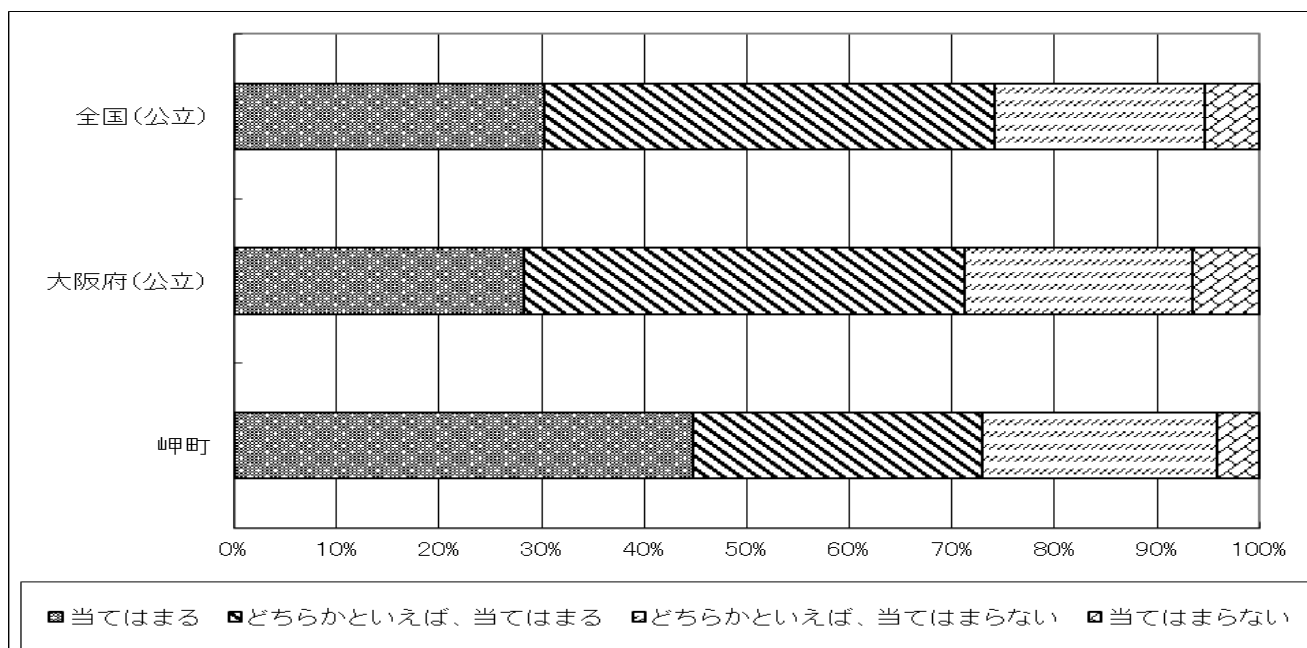


3. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（中学校）

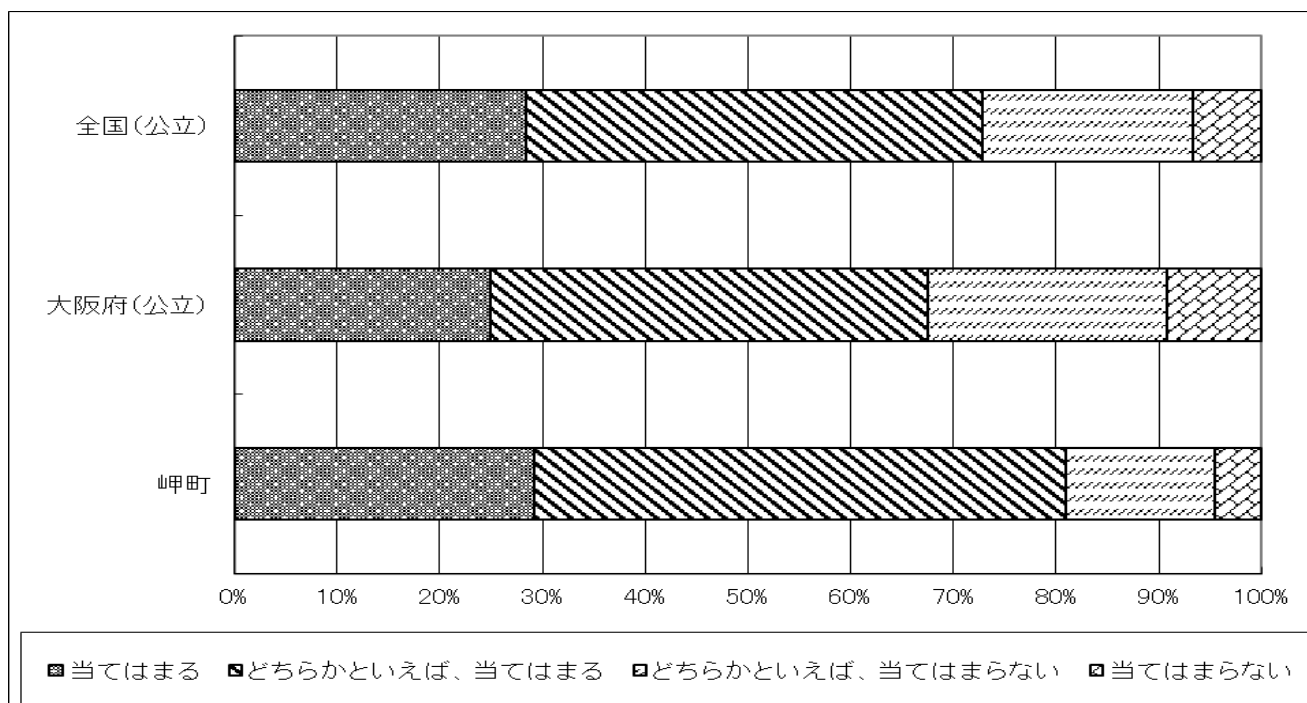


○小中学校共にいじめはいけないという意識が高い。生徒指導や人権教育、いじめをなくす取り組みによる成果であると考えられる。

4. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、
広げたりすることができていると思いますか（小学校）

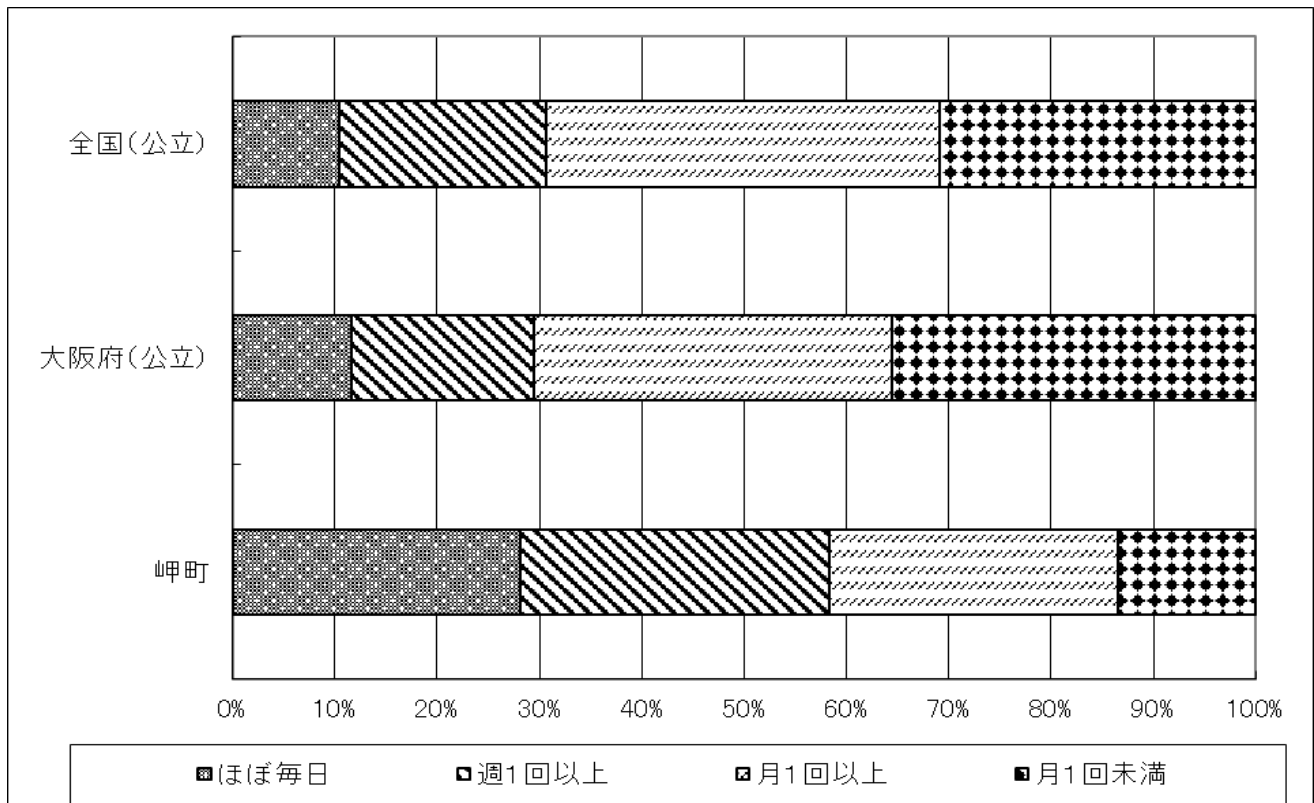


4. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、
広げたりすることができていると思いますか（中学校）

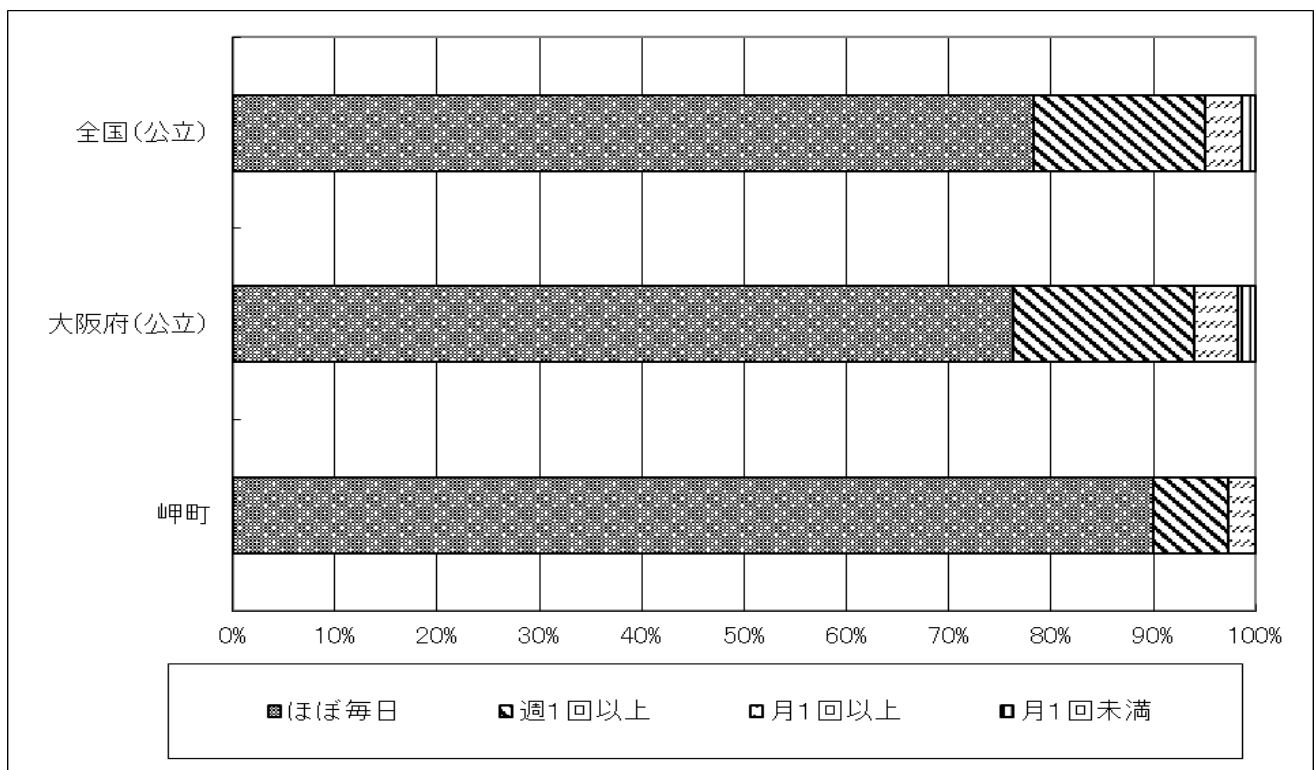


○主体的・対話的で深い学びをめざす授業改善が推進されており、班活動やグループ学習の中で意見交換され、新しい気づきのある授業が展開されているといえる。

5. 授業でコンピュータなど ICT をどの程度使用しましたか（小学校）



5. 授業でコンピュータなど ICT をどの程度使用しましたか（中学校）



○小中学校共に ICT の使用頻度は高い。特に小学校から中学校にかけて使用頻度が高まる傾向がある。